

梅雨入りを前に 土のうで備え

6.7
sun

梅雨入り前の備えとして、小郡市消防団と市職員計130人が土のうを作りました。

この日1時間かけて作った土のうは2,200個。うち1,200個は、近年特に大雨の被害が大きかった大崎区に配布され、残りは市の備蓄用となります。大崎区の田中信佳区長は「とてもありがたい。各家庭で有効に活用してほしい」と話しました。



検温サーモカメラの 寄贈を受けました

6.12
fri

市は、平和総合サービス株式会社から検温サーモカメラ一式の寄贈を受けました。このカメラは、数メートル離れた位置から約1秒で体温を測定でき、来庁者の体温を瞬時にモニターに表示します。市長は「安定した行政サービスのために活用したい」と話しました。



サーモカメラは、市役所本館の正面玄関に設置しています。ご来庁の際、健康チェックに活用ください。

ひまわりを育てて 楽しいおうち時間を



新型コロナウイルスの影響で増える“おうち時間”を少しでも楽しんでもらおうと、東野校区協働のまちづくり協議会が、校区内の全世帯にひまわりの種を配布しました。

同校区では、公園や花壇にひまわりの種をまくなど、ひまわりを使ったまちづくりに昨年度から取り組んでいます。今年はコロナ禍でも家庭でできる取組として、世帯への種の配布を決めました。

環境・衛生部会長の田中良一さんは「校区のシンボルひまわりでまち全体を明るくしたい」と話しました。

★表紙は、いち早く種をまいたひまわり館東野のひまわり。(6月16日撮影)7月には校区内のおうちでも見ることができそうです。



人権擁護委員の3人に表彰状

人権擁護委員の永利眞由美さん、山下健志さん、有川政次さん(写真左から)が、長年にわたって人権擁護活動に尽力したとして、福岡県人権擁護委員連合会から表彰を受けました。

小郡市では、8人の人権擁護委員が皆さんの人権が侵害されないように見守り、侵害された場合には相談に応じ救済を図っています。また、日頃から地域に密着した啓発活動を行っています。3人は「今後も精進しながら、人権尊重の大切さを呼びかけたい」と話しました。

